

平成29年度
東京都平和の日記念行事企画検討委員会
会議録

平成29年11月14日（火）
都庁第一本庁舎42階特別会議室C

午後1時30分開会

○樋渡文化振興部長 それでは、大変お待たせいたしました。定刻になりましたので、ただいまから平成29年度「東京都平和の日記念行事企画検討委員会」を開催いたします。

本日は、お忙しいところ御出席賜りまして、誠にありがとうございます。

私、生活文化局文化振興部長の樋渡でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

本委員会は、平和の意義を確認し、平和意識の高揚を図るために、3月10日の東京都平和の日に行う記念行事の実施に当たりまして、基本的事項につきまして委員の皆様へ御意見をいただき、記念行事を円滑に運営することを目的としております。皆様の忌憚のない御意見をよろしくお願ひしたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは、まず初めに資料の確認をお願いいたします。

○野口文化事業課長 それでは、資料の確認をさせていただきます。

資料1、「東京都平和の日記念行事企画検討委員会委員名簿」、次第をおめぐりいただいた次が資料1になります。

資料2、「第27回東京都平和の日記念行事実施概要」

資料3、「第27回東京都平和の日記念行事報告書」

資料4、「第28回東京都平和の日記念行事実施内容（案）」でございます。

このほかに、参考資料として「東京都平和の日条例」及び「東京都平和の日記念行事企画検討委員会設置要綱」をお配りしております。

不足等ございませんでしょうか。

○樋渡文化振興部長 それでは、資料がそろっているということですので、また後ほど御紹介いたしますけれども、都議会議員の委員の方、5名の方に変更がございました。

新しい5名の方の委嘱状につきましては、本来でございますと知事からお渡しすべきところでございますが、机上に置かせていただいておりますので、御了承のほどよろしくお願ひいたします。

それでは、私のほうから資料1の委員名簿によりまして、本日、御出席の委員の皆様方を御紹介させていただきます。

初めに、秋山俊行座長でございます。

続きまして、海老名香葉子委員でございます。

荒木ちはる委員でございます。

栗林のり子委員でございます。

古賀俊昭委員でございます。

大山とも子委員でございます。

中村ひろし委員でございます。

山本亨委員、石森孝志委員、坂本義次委員は、本日所用のため欠席との御連絡がございましたので、お知らせいたします。

続きまして、事務局の紹介をさせていただきます。

文化振興部企画調整課長の杉山でございます。

もう一人、文化振興部文化事業課長の野口でございます。

では、よろしくお願いいたします。

○秋山座長 それでは、まず、議事に入ります前に、当委員会の運営などにつきまして、事務局のほうから説明をお願いしたいと思います。お願いします。

○樋渡文化振興部長 それでは、会議の運営につきまして、2つほど御了承いただきたいことがございます。

1つ目は、この会議は原則として公開で運営したいと思います。

2つ目は、事務整理の都合上、速記を入れさせていただいておりますので、よろしくお願いいたします。以上でございます。

○秋山座長 ただいま事務局のほうから説明が2点ございましたけれども、よろしゅうございますでしょうか。

(「異議なし」と声あり)

○秋山座長 ありがとうございます。異議はないようなので、そのように進めさせていただきます。

それでは、議事に入ります。議事の1、「第27回東京都平和の日記念行事の実施結果報告」につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

○野口文化事業課長 説明の前に、恐れ入ります。取材の方へのお願いですが、これから議事に入りますので、これ以降、スチール、ムービー等は御遠慮くださいますようお願い申し上げます。

それから、お手元に配付した資料、それから今後、議事2のところでは幾つか映像等を投影いたしますが、一部、内部資料目的の画像が含まれておりますので、配付資料の転用及び投影画像の撮影も御遠慮くださいますよう、お願いいたします。

傍聴の皆様におかれましても、円滑な議事進行に御協力くださいますようお願いいたします。

それでは、議事の1について御説明いたします。資料2を御覧ください。こちらは昨年度、平成29年3月10日の平和の日に実施した記念式典及び平和の日記念行事として、東京都平和の日を含む期間に実施した関連行事をあわせて説明いたします。

昨年度は、この資料の中でゴシック文字で記載のとおり、3月10日の「記念式典」等の開催、それから平和の日を迎えるに当たって都民の皆さんへの「普及啓発」、都内4会場における「東京空襲資料展」の開催、さらには資料の裏面になりますけれども、都立横網町公園にございます「東京空襲犠牲者を追悼し平和を祈念する碑」、こちらでの空襲犠牲者名簿の追加登載や内部公開を実施いたしました。

それから、昨年度の本委員会での御意見を踏まえまして、都立横網町公園での春季大法要や、平和を祈念する日の内部公開にお越しの方々を式典会場でございます東京都庁まで大型バス3台で御案内をいたしました。

さらに、東京都庁の大会議場での記念式典及び記念公演のインターネット中継を初めて実施いたしました。当日の式典及び公演の様子は、平和事業の普及啓発を目的として、現在でも東京都のホームページで視聴いただけるようにしてあります。

まず、「記念式典」についてお話をさせていただきます。

3月10日の14時～14時30分まで、都庁第一本庁舎5階の大会議場で開催をいたしまして、およそ550名の方々に御参加をいただきました。

当日は13時に開場、受付を開始し、抽選により御来場いただいた一般都民の方々を含めまして、できるだけスムーズに御着席いただけるよう御案内をいたしました。

式典運営上の安全を期すため、警備員を配置いたしまして、一般来場者の方には手荷物検査にも御協力いただきました。

式典は、14時から資料2-1の(4)の「次第」のとおりの流れで進行いたしまして、日英同時通訳、それから手話通訳を入れまして、大使館関係者の方々ですとか、聴力にハンディキャップのある方にも配慮をして実施をいたしました。

東京空襲被災者代表、それから在日外交団代表のお話に、参加者の方からは、痛切なる思いを感じたといったような感想が寄せられました一方で、式典終了後、記念公演への場面転換の間に退室された方が多かったことを残念に思うという意見もございました。

14時45分からは、東京都交響楽団による記念公演を行いました。

この記念公演は、戦争犠牲者のための追悼、悲惨な体験を次世代に語り継ぐ象徴としての青少年とのジョイント、戦争の惨禍を再び繰り返さないことを誓い、御来場の皆さんとみんなで歌うコーナーの構成で進行をいたしました。

御来場の方々からは、ソプラノや中学生の競演を評価する声ですとか、楽団員の真剣さに心を打たれたなどの感想も寄せられました。

また、式典後に楽団による音楽公演を行うことについて、慰霊のための式典だけでよいという意見がある一方で、音楽を聞くことによって心が安らぐ、平和のありがたさを確認できるという声も多く寄せられております。

式典、音楽公演に参加された方々の御意見は、資料3の報告書、ピンク色の冊子ですが、42ページ以降に掲載をしておりますので御参照ください。

3月10日のこの記念式典、記念公演の開催に向けて普及啓発事業も行っております。こちらについては、ピンク色の冊子の報告書の19ページを御覧いただけますでしょうか。

「普及啓発」はテレビ、ラジオの都政ニュース番組を通じて、3月10日が東京都平和の日であることの告知や、記念式典の参加者募集、東京空襲資料展の開催などについて広く都民の皆さんに告知をいたしました。

また、広報東京都でも記念式典参加者の募集を行うほか、3月10日には朝日新聞、読売新聞、毎日新聞紙上に広告を掲載し、当日3月10日が東京都平和の日であること、14時からの記念式典の様子が都のホームページで中継されること、さらに記念式典の開式にあわせて1分間の黙禱を皆様をお願いすること、黙禱を通じて戦災で亡くなられた方々を追悼

し、恒久平和を願う趣旨の広告を掲載いたしました。

次に、平和の日記念行事の関連事業として実施をいたしました「東京空襲資料展」ですが、空襲下の人々の暮らしを伝える当時の生活用品を中心に、空襲で亡くなられた方の遺品や、例えば焼夷弾などの実物資料に加えまして、当時の東京を写した写真パネルを活用し、展示をいたしました。

空襲資料展の会場は、記念式典が行われた都庁第一本庁舎5階大会議場併設のレセプションホール、池袋の東京芸術劇場のほか、昨年度は福生市と東大和市の御協力を得て都内4カ所で開催をいたしました。

また、都庁第一本庁舎では3月7日～10日までの間、1階の中央部分にアートワークの台座がございますけれども、こちらを活用いたしまして20種の写真パネルを展示し、御来場の皆様に東京空襲の史実を伝え、平和の意識の高揚を図るとともに、先ほど説明いたしました東京空襲資料展のPRもあわせて行いました。

関連事業としての最後になりますが、横網町公園等での実施内容です。墨田区の都立横網町公園内がございます「東京空襲犠牲者を追悼し平和を祈念する碑」、こちらでも関連事業を実施いたしました。

平和の日に先立つ3月3日には、平成28年1月～12月までの1年間に新たに受け付けた犠牲者のお名前を名簿に登載し、祈念碑内部にお納めをいたしました。これにより、同祈念碑内には8万905名の方のお名前が納められております。

また、3月10日の平和の日当日には、10時～16時までの間、祈念碑を公開し、多くの方にお越しいただきました。

なお、この祈念碑の花壇は、都内在住在学の小中高校生から広くデザイン画を募集しております。その中から、優秀点4点を選考した上で、優秀賞を受賞したデザイン画に基づき、季節の花々を活用しながら年4回の植え替えを行いまして、この花壇を都民の方々に身近なものとして親しんでいただくとともに、改めて平和について考える機会を提供しております。

先ほど御案内いたしましたとおり、今回は都立横網町公園から東京都庁まで大型バス3台を運行しまして128名の方に御利用いただきました。当日は晴天に恵まれましたものの、高齢の方の御利用が多かったことから、東京都職員をバス利用誘導職員として配置をしまして、利用者及び公園来場者の安全確保に努めました。

最後に、記念式典に御来場された方々に対して行ったアンケートの結果について簡単に御紹介をいたします。

資料3の42ページ以降にアンケート結果等がございますけれども、冒頭の記念式典についてです。大変良かった、または良かったとお答えくださった方はおよそ8割となりました。前回、平成27年度の記念式典時に比べて1割近く満足度が向上しました。

記念式典に引き続いて実施した記念公演についても、大変良かった、または良かったとお答えくださった方がほぼ8割となりました。

記念公演の満足度も若干ではありますが、前回結果を上回ることとなりました。

昨年度に開催しました第27回東京都平和の日記念行事の実施報告の結果について、事務局からの説明は以上でございます。

○秋山座長 どうもありがとうございました。

ただいま事務局から記念行事の実施結果につきまして説明がございましたけれども、御質問等ございますでしょうか。よろしゅうございますか。

大山委員、どうぞ。

○大山委員 細かいことなのですけれども、参加者は高齢者が多いということでバスが出たり、あとは耳が聞こえない方には手話通訳ということなんですけれども、高齢者になって耳が聞こえにくくなると手話通訳だとわからない方も多いので、できればヒアリングループの設置なども検討していただければと思います。

○秋山座長 ありがとうございます。後ほど今年度の行事の中身について検討していただきますので、そこで出た御意見などと一緒に事務局のほうで検討するように対応したいと思っております。後ほどまた触れさせていただきます。

ほかにいかがでございますか。

実施結果でございますので、それでは次にさせていただきます。

続きまして議事の2、「第28回東京都平和の日記念行事の実施内容(案)」につきまして、事務局のほうから説明をお願いいたします。

○野口文化事業課長 それでは、議事の2について説明いたします。こちらについては、正面のスクリーンで少しわかりやすく大きく投影しますので、そちらもあわせて御覧ください。座長、恐れ入りますが、御覧いただきやすい席に御移動ください。

(PP)

来年の3月10日に実施をする平和の日記念行事の現時点での事務局案について説明をいたします。お手元にも同じものを用意してありますけれども、スクリーンにも投影しますのでそちらも御覧ください。

(PP)

まず、平和の日記念行事の全体構成ですけれども、これまで3月10日に記念式典を行うとともに、3月10日を含む前後の期間を通じまして、空襲資料展ですとか、横網町公園祈念碑の内部公開などの関連事業を行ってまいりました。

またテレビ、ラジオ、新聞などの媒体を活用しまして、記念行事の開催にとどまらず、3月10日が東京都平和の日であることの告知や、黙禱への協力をお願いする啓発活動を行ってきておりますけれども、来年の平和の日に向けましても資料で図示した3事業、こちらを同時並行的に複合的に実施していきたいと考えております。

(PP)

それでは、記念式典からその内容(案)について説明をいたします。

記念式典は来年3月10日、今回は土曜日の開催になりますが、都庁第一本庁舎5階の大

会議場において14時～14時30分までの開催を考えております。

開式、黙禱から資料に記載の流れ、今御覧いただいている流れで進行したいと考えております。

冒頭の記念式典終了後に、現在の案では一旦休憩を挟みまして、14時45分から管弦楽による記念公演に入るという流れを考えております。

昨年度の記念式典に関するアンケートの回答の中で、大会議場における行事は慰霊のための記念式典だけでよいという意見があったことを先ほど御紹介しました。長時間にわたる内容は、御来場された方にとって、場合によっては負担が大きくなるということも考えられますので、こちらで一旦、休憩を挟み、お休みいただく。あるいは、御都合に応じてこのタイミングでお帰りいただくようなきっかけも必要ではないかと思っております、ここで15分休憩を挟むということを考えております。

(PP)

記念式典の登壇者と参加者の予定です。例年から変更の必要は特段ないものというふうを考えておりますので、資料に記載の方々に登壇、御列席いただくよう調整してまいりたいと思います。

なお、登壇者のうち、知事及び都議会議長には主催者として、また在日外交団代表及び東京空襲被災者代表の方には来賓として御挨拶をいただきます。

(PP)

次の資料に移ります。

14時45分から管弦楽による記念公演に入ります。記念公演は以前、海老名委員からも御意見を頂戴しましたので、海老名委員からの御提案も参考にさせていただきながらこれまで続けてまいりましたが、次回も「戦争犠牲者のための追悼」、次世代に平和の大切さを語り継ぐ象徴としての子供たち、あるいは青少年とのジョイント、御来場の皆さんとともに恒久平和を願う「みんなで歌うコーナー」、この3構成で進めていきたいと考えております。

5階大会議場で開催する記念式典、記念公演は、以上の流れで進めたいと考えております。

(PP)

次に平和の日を含む期間に都が主催、または区市町村との共催により、都内4カ所で空襲資料展を実施したいと思います。実施時期及び場所は、資料に記載のとおりです。

なお、東京芸術劇場のアトリエウエストは池袋駅地下通路からのアクセスには優れていますが、芸術劇場1階の入り口付近を通行する方々が資料展の開催に気づきにくいという御意見もありましたので、今回は芸術劇場にお越しの方にはわかりやすいように案内板等を工夫してまいりたいと考えています。

(PP)

次の資料にまいります。

横網町公園では、3月初旬に東京都平和を祈念する碑において、ことし12月までに新たに収集できた空襲犠牲者名簿を追加登載いたします名簿納め式を実施する予定です。

また、平和の日当日は、東京都慰霊協会によります春季大法要にあわせて祈念碑の内部公開などを行います。

さらに、春季大法要や祈念碑公開のために横網町公園を訪れ、その後、都庁で実施する記念式典に参加される方々のために大型バス3台を運行する予定です。バスの運行は、昨年度の本委員会での意見を踏まえて昨年度に引き続きまして実施をしまして、160名の利用を考えております。

(PP)

次の資料になります。

3月10日が東京都平和の日であることを改めて告知いたしますとともに、当日の黙禱の呼びかけのために、テレビ、ラジオ、都の広報紙、新聞などの媒体を活用いたします。SNSなど、若年層向けの媒体も活用して広く周知をしていきたいと考えております。

また、大会議場で実施する記念式典は東京動画で生中継を行う予定です。今回の中継を活用しまして、現時点では4つの市が身近な地域でその様子を地域住民の皆さんに同時中継で伝える。これを実現させる方向で、現在検討してござっております。

来年3月に実施します平和の日記念行事の内容に関する事務局案の説明は、以上でございます。

○秋山座長 どうもありがとうございました。

議事の2の本年度の実施内容案につきましては、皆様にお集まりいただいておりますので、恐縮でございますが、お一人ずつ御意見をいただきたいと思っております。

なお、時間の制約等ございますので、お一人様5分程度というふうに行進上、予定をさせていただきます。

それでは僭越でございますが、私から御指名をさせていただきます。まず、海老名委員からお願いできますでしょうか。

○海老名委員 皆さんの御意見を伺ってからで。

○秋山座長 それでは、順番を変えさせていただきます、大山委員よろしいでしょうか。

○大山委員 では、お先に失礼します。

今の来年の3月10日の案を見せていただきますと、ここ数年やっていることを例年どおりやるという予定なわけですね。毎年やっていることを行うということは、それはそれで重要だとは思っています。

しかし、今、本当に国際的な緊張関係というか、北朝鮮問題などで軍事的な緊張関係が高まっている状況の中で開かれる今度の東京都平和の日であるだけに、東京都平和の日の条例と、それから第5回の東京都平和の日の式典参加者の総意として採択された東京都民平和アピールの立場に立って、力を入れていくということがますます重要になっているんじゃないかと思っております。絶対に戦争はしてはならないというメッセージを発信する機

会にしていく必要があると思っています。

それで、次回の企画についての前に、東京都平和の日の企画検討委員会が昨年16年ぶりに開かれたということで、傍聴できるように公開したということもいいんですけども、開催日の発表をしたのが11月6日で、それから開催日まで9日間しかなかったんですね。傍聴はできますけれども申し込み制で、申し込み締め切りまでがわずか5日間しかありませんでした。

傍聴希望者は何人だったんですかと伺ったら8人でしたということで、傍聴可能な人数が若干名となっていたのですが、6名だということなんですね。せっかく傍聴に申し込んでいただいたんだから、あと2人ぐらい何とかならなかったんだろうかというのが率直なところです。

きょうも会場を見ると、あと2人ぐらいは入れるんじゃないかなというのが実感です。今後、ぜひ希望する方が傍聴できるように改善していただきたいと思います。

それから、記念行事の検討委員会についてなんですけれども、私は初めてこの委員になったものですから、第1回目から前回までの報告書を見せていただきました。9回目ぐらいまではさまざまな企画に取り組んでおられて、平和シンポジウムを開いてさまざまな分野の有識者を迎えて平和を語り継いでいくための行動指針を討議してみたり、それから平和展として映画だとか、写真だとか、絵画だとか、あとはトークを通じて平和への思いを共有するとか、スタンプラリーをして東京大空襲ゆかりの地を訪ねながら先の大戦で犠牲になった方々を追悼して平和の実感を新たにしたりとか、さまざまな企画や都民の皆さんが参加できる企画をしていたんですね。

本当に、これは東京都みずからが発信しようという気概を感じました。そして、東京平和フェスティバルとして、都と都民の皆さんの実行委員会で企画することなどもやりました。平和への手紙だとか、あとは平和に関する論文だとか作文を募集したこともありました。

第10回以降は、ほとんど現在と同じ企画になっているというのもわかりました。

東京都平和の日記念行事企画検討委員会は、設置要綱では委員の人数は20人以内となっていますけれども、現在は10人です。第1回目からの委員名簿もいただきました。学識経験者の枠の委員が現在はお2人ですけれども、第1回平和の日の委員は学識経験者の枠では9人、第2回目から8回目までは10人いらっしゃいました。

そのメンバーを見ますと、歴史学者だとか、弁護士だとか、ジャーナリストだとか、本当にさまざまな分野から多彩な人々が学識経験者の委員として選任されていました。

9回目の平和の日は7人に減って、その後、5人、3人と減って行って、21回の平和の日以降は2人となっています。

東京空襲から70年以上が経過しているからこそ、空襲の体験者やその遺族、それから空襲研究者だとか、空襲に関する資料や記録、体験記等の活動に携わっている方だとか、学校教育だとか、社会教育の関係者だとか、国際平和に関する研究者だとか、平和のための

研究に携わっている方などの各分野から、年代だとか性別のバランスにも配慮した委員の選任が必要ではないかと思えます。

実質的に今、開いて3月というところ、もう大きな変更、企画から携わるということにはなりませんけれども、企画検討委員会なわけですから、企画検討委員会がさまざまな方々の意見を生かして、平和の日の条例と平和アピールの立場に立って実現していく立場で企画開催できるようにしていくのが、せつかくの企画検討委員会ですのでそういう役割を果たしていくべきではないかと思っています。

記念行事の内容についてなんですけれども、先ほどアンケートの御紹介もありましたが、自由意見欄を見ますと、もっと多くの方に参加してほしいとか、一般都民を多く入場できるようにしてほしいとか、3月10日が東京大空襲のあった日と知らない人がふえているなど、より多くの都民の皆さんが参加できるようにしてほしいという趣旨の意見が案外ありました。

記念式典には希望する都民の誰もが参加できるように、会場は第一庁舎の5階の大会議場ですと500人弱ということですから、そこだけじゃなくて大勢入れて行きやすい会場を設定して、参加の方法なども改善する必要があるんじゃないかと思えます。

昨年の平和の日は、空襲被害者の遺族の皆さん600人ぐらいに招待状を郵送して出欠の返信をしてもらったわけですね。それから、2016年度は200人参加された。一般都民の皆さんははがきで申し込んでもらったのですが、はがき1枚に2人書けるということで400枚参加希望がきたということなので、最大700～800人は希望されていたということですね。大使館関係者には160カ国に招待状を出して、去年は82名が参加したということでした。

5階の大会議場に入れるのは600人弱、550人ぐらいが適当なところじゃないかということなんですけれども、一般都民の皆さんが希望しても多くの方々は参加できなかったということになると思います。ですから、会場も含めて今後検討していくべきではないかと思えます。

それから、横網町公園から記念式典の会場までのバスの運行を久しぶりに復活したということで、これは改善だと思っています。以前の報告書を見ていましたら、バスの側面に東京都平和の日という横断幕をつけて送迎されていて、これは一石二鳥だなという楽しいアイデアかなと思っていました。

記念式典以外の企画の充実ということでは空襲資料展を開催していますけれども、体験者のビデオ上映コーナーもありますが、一層充実することが求められていると思っています。

報告書のアンケートでも、被災者の方の体験談が胸に響いた。さらに聞きたいなど、戦争体験を語り継ぐことの重要性に言及している感想が多くありました。式典での体験談とともに、証言ビデオは現在9人分は公開できるようになっているということなんですけれども、証言してくださった方の300人ぐらいのものは録音されているということをおっしゃっていた。平和祈念館のために聞き取りをしたからほかには使えないんですとおっしゃっていた

んですけれども、せっかく語ってくれた方は戦争体験を伝えようと思って語ってくれたわけですから、やはり活用できるように早急に対応すべきだと思っています。

充実した企画、それから多くの都民の皆さんに参加していただくためにも、予算の拡充というのは欠かせないと思っています。1回目から7回目までは、決算額で2億4,000万円程度でした。その後、減額されて16回の平和の日の記念行事以降は約3,400万円程度でずっと変わらずに、26回目以降はさらに減額されているということなんですね。

ですから、平和の日の条例と平和都民アピールを実現する立場で、やはり予算も拡充を求めておきますということです。

○秋山座長 ありがとうございます。本委員会の議事運営に関する事項につきまして、傍聴の話とか、委員の選任の話ですね。これにつきましては、今年度はこれで進めておりますので、来年度以降どうするかということで事務局のほうに投げておきたいと思います。

それから、個々のことについてはいかがでしょうか。一問一答で少し答えることはございますか。

○樋渡文化振興部長 今いただいた御質問、御意見は全部私ども記録しますので、また個別にそれぞれ対応できるところは検討するというので、この場で一つ一つお答えするということはしないようにいたします。

○秋山座長 先ほど言ったとおり、予算を拡充せよという話でしたが、予算自体が今年度は決まっているという側面もありますし、個々に検討させてもらいまして、後ほど結果については委員に御報告させていただくという整理にさせていただきたいと思っております。

それでは、引き続きまして中村委員から御意見を頂戴したいと思います。

○中村委員 今、説明を伺わせていただきました。こういった形で毎年やってこられて私も出席しておりましたので、今年度もこういった方向性なのかなというふうには思っています。

ただ、昨年度のアンケート等を見ていて、出席して大半の方は良かったと言っているんですが、これからも、来場された方々の意見というのをよりよく尊重して改善につなげていただければと思っています。

また、この式典はどうしても場所とかいろいろな制約があるのでここでの会場ということになるんですが、当然平和について考えるというのは全ての都民の皆さんに共有してほしいところもありますので、どのようにこういったことを広げていくのかとか、例えばアンケートにしても来場された方々だけではなくて、広報等でいろいろなほかの都民一般の方からの御意見を募るとか、そういったこともあってもいいのかなと思いますし、今回3月10日は土曜日ですけれども、平日であれば例えば学校等でこの日はどういう意義があるのかということその日にやるとか、いろいろ広げていくことが大事だと思います。とりわけ、そういった学校等を含めて若い方々に平和を考えていただくというのは大事だと思っていますのでお願いしたいと思います。

3月10日が平和の日というふうになっているのでこの日にやるんですけれども、もちろん365日、平和を考えたほうが良いと思っていますし、各自治体、市町村などでもいろいろやっているところもあると思いますので、今どういう連携かという具体的なアイデアはないんですけれども、例えば私の地元の三鷹市などは8月15日にずっと平和の式典というのをやっていたりしますから、いろいろなところでやっているものもあるので、いろいろ連携しながら都民全体がこういった思いを共有できればと思っています。

特に議会などで過去申し上げたことがあったんですが、本当に今、言ったように平和そのものは3月10日だけに考えるものではないので、条例上、平和の日をこの日に定めて記念行事をやるとは書いてあるんですが、都政の中でももう少し平和というものを考える位置づけとか、部門をつくったほうが私はいいとは思いますが、そういったところで平和の行事関連をもう少しやるとか、いろいろなことに拡大していく中でこういう位置づけがあったほうがいいのかという思いもします。

この事業そのものはいいんですが、これだけ単発で終わらせてとか、この日だけのということではないと思っていますので、これからも、むしろこれからこそが戦争体験者が少なくなっていく中で平和の大切さをずっと引き継いでいくためにも、少し幅広い視点で見たいと思っています。以上です。

○秋山座長 ありがとうございます。広報やアンケートを始め、区市町村の連携につきまして御意見を賜りました。事務局のほうで少し検討させていただきたいと思っています。よろしくをお願いします。

それでは、古賀委員よろしくお願いたします。

○古賀委員 前の検討委員会で、海老名委員から大法要の会場からのバス利用という御提言があり、そのことは私もぜひ実現するべきだという意見を申し上げました。今回アンケートを見ましても、この平和記念式典都庁舎への移動について、そのことを評価しておられる方が大変多いわけですので、過不足のないよう、今年度その手配等については検討をさらに加えていただきたいと思います。

あとは、普及啓発事業で、テレビ、ラジオで広報を行うということは広報東京都とともに大変重要なことだと思います。新聞を読む方が今はインターネットの普及等で少なくなっているということをよく聞くのですが、せっかく朝、毎、読と新聞広告を出しておられますので、もう一つ、産経もあってもいいのではないかなという気もいたします。

予算の都合もあるとは思いますが、できるだけ多くの方に知らしめるためにも、中央紙としてそのことがちょっと気になるものですから申し上げておきたいと思っています。

インターネットの中継は、今回もぜひ実行していただきたいと思います。以上です。

○秋山座長 どうもありがとうございました。

バスに関しましては過不足なきようという御意見につきまして、事務局で十分対応をお願いします。

なお、普及啓発等々につきましても御意見を承って対応願いたいと思います。よろしく

お願いします。

それでは、栗林委員よろしく申し上げます。

○栗林委員 今、古賀委員のほうからもお話かございましたように、前回の御提案がすぐ実現をされ、今回のこのアンケートの中にも、バスは大変助かったと同時に今度は動線の問題でございますね。バスをおりてから、ここにも昼食の時間がどれほどとれるかだとか、どこへどう行けばいいのかとか、移動はしたもののそこからさらに会場に行くまでの配慮といいますか、迷うことなく会場まで到着できるように、そういったアプローチをぜひ次の課題としていただきたいと思います。

私も、毎回このセレモニー式典のほうには参加させていただいているんですが、改めて3月10日という、このときを迎えて自分の中で平和をもう一度意識をするという大事な日でございます。

と同時に、やはりこのところの北朝鮮の問題等、国際情勢が大きく変わる中で、今までは平和と言っていたことが、とてもこれからはリアルな平和という意味を持ち始めて、意識し始めていっているところでございます。そういったところを、やはりより多くの方たちに知っていただくためにも、私は教育といいますか、ここでやっていただいたセレモニーやら、またいろいろな催し物、イベントはございますけれども、子供、または若い方たちに届くようなことをぜひやっていただきたいと思います。

私もこの平和を意識していく、また子供たちに伝える中で一番効果があったなと思うのは、海老名委員の著作の中の『うしろの正面だあれ』とか、『火垂るの墓』とか、ああいうようなアニメを通してながら平和というもの、また戦争の悲惨さ、こういったことが子供たちにずっと入っていきける、そういったことも非常に大事かと思っておりますので、この期間を通していろいろなSNS、またユーチューブで中継もすると同時に、幾日間かは放映されているということでございますけれども、ぜひユーチューブ、そういうしっかりしたサイトをつくるぐらい、いろいろな証言、体験を集めたもの、また動画、そしてアニメ等と、そういったところから子供や、また若い方たちに3月10日の平和の日の重大さというものを残していただけたらと思います。

もちろん、その条例だとか、そういうハード面といったこともしっかりし、ソフト、ハード両方でこれは進めていかななくてはならないと思いますが、やはり一番大事なものは心ではないかと思っておりますので、そういったこともぜひ今後考えていただければと思います。以上でございます。

○秋山座長 ありがとうございます。特に動線などを含めた参加者の立場に立ったきめ細かな運営というようにお話がございましたので、再度きめ細かなところも含めてチェックを事務局でお願いしたいと存じます。

それでは、荒木委員、御意見をお願いいたします。

○荒木委員 内容については各年のアンケートを踏まえたものであり、そしてまた前年度よりも良かったと思っただけの来場者のアンケートもあるということで、内容につい

ては特に異存はございません。

初めての参加者が51%を占めるということで、これはまさに広報に力を入れていただいたこともあるかと思います。先ほど栗林委員からもお話がありましたとおり、ぜひ若者の参加を促したり、来場者の中に平和の日が3月10日であることを知っていたというのが77%とありますが、ここにこられる方はもちろん、それだけの多くの皆様が知っていた上での御参加ということもありますけれども、ぜひ若者、特に先ほど東京動画での放映もされるということですし、またSNSも活用されるということで、ぜひ今までの既存の広報だけではなく、いろいろなツールを活用していただきたいと思っております。

やはり3月10日とまだまだ意識していない東京都内の若者の多くが存在していると思いますので、ぜひその意見も発言をさせていただきたいと思いました。以上でございます。
○秋山座長 ありがとうございます。若者も含めた広報の強化につきまして、これは永遠の課題だと思いますので、逐次検討していただきたいと思っております。

それでは、海老名委員、よろしく願いいたします。

○海老名委員 私は第1回目から参加いたしまして、第1回目のときはまるでお祭りのようでした。企画には入っておりませんでした。ただ、出て御挨拶をするようにという御指名だったものですから参加したんです。

驚いたことに全くめっちゃめっちゃな楽器が流れまして、今で言う若い女の子たちが踊りを踊ったり、日比谷公会堂でございましたけれども、びっくりしました。これが平和の日なのかという感じでございまして、だったらやめてもらいたいと思ひまして、それで申し上げました。

平和の日、3月10日は私たち体験者にとりましては供養の日なんです。亡くなった人たちの冥福を祈る日なんです。それなのに、こんな騒ぎで平和だ、平和だと踊りを踊ってはいけませんよということを申し上げました。

その後、では、やめましょうということにすぐなりまして、私はそのときに体験をちょっと話したらそのときだけちょっとしーんとしたんですね。それからは、体験者の方に御自分の体験、苦しかった体験を話していただきましょうと、私は28年間参加してはいますが、やはり体験者のお話が一番心に響きます。

都知事のお話、だめです。私は鈴木都知事からですけども、棒読みですね。ですから、心がこもっていない。そんな思いがしました。

体験者の人は、もう大勢の前ではしゃべれない。私の兄も一度、嫌だ、嫌だと言うのを無理に参加させました。それで、話をしまして、ぼつぼつ話したようですけども、でも、みんな身にしみたというふうに言ってくださいました。

この3月10日は、体験者にとっては本当に平和になってもらいたい。そのためには、あの惨禍を伝えていかなければいけない。伝えることが一番なんですよね。それなのに、伝えなくて、ただ、ただ、平和に、平和にではだめだと思います。毎年、形が平凡になってきました。

それから、550人の人が御招待されたそうですけれども、これは本堂の中に入った方でいらっしゃるんですよね。

○野口文化事業課長 都庁の会議場の中です。横網町公園とはまた別입니다。

○海老名委員 横網のほうはどうなんですか。

○野口文化事業課長 横網のほうは、我々、人数は正確に把握してないです。

○海老名委員 そうですか。御招待状をいただいている人は、本堂の中に入ってお経が聞けません。

御承知のように、昔のものは被服廠と申しまして、関東大震災の慰霊堂です。その中に東京大空襲のお骨も入っているということで、合祀されているわけですよね。ですから、両方の気持ちで、それで入っている人もいます。

ですけれども、3月10日に関しては御招待状がない人は入れないんです。境内でうろうろしているだけです。こんなことはないと思いますよ。お経を上げているんです。あそこは仏教で、天台宗さんですか。仏教連合会がお経を上げておりまして、実はその仏教連合会に申し込みをしていないと罹災者じゃないんです。

私は、戦災孤児でございます。孤児というのは、自分で言っているんです。国では、孤児と認めていません。幼かったものですから、私は親の遺体がどこにあるんだろうということで、清澄庭園から恩賜公園から隅田川河岸からずっと歩き通して死亡者名簿をめくりました。死亡者名簿は、亡くなった人の遺体が上がった人、引き取られた人の名簿だったんです。子供ですから、わからなかったんです。死亡者だから、その中に入っているんだと思っていたんです。ことしも出ない、ことしも出ないと、それだけで終わっちゃいました。

ですから、私は戦災孤児の証明書をもたえません。くれませんでした。東京都がくれないのか、区がくれないのか、わかりません。子供ですからね。ですから、どこへもらいにいったいいかわからなかった。

昨日もお話ししましたがけれども、学校の前でおにぎりを配っているよと、私は孤児で一人でしょう。おにぎりをもらいたいためにいきますでしょう。でも、孤児の証明がなかったらもらえないんです。あのころは、徹底していました。情もくそもない。だめだ、だめだと。それから、乾パンが配られているから行ってごらんと言われて、飛んで行きました。でも、乾パンもくれません。ないから。

私は、親が行方不明のままなんです。いまだにそうなんです。ほとんどの私の年代近くの人たち。それから集団疎開先で両親、きょうだいを亡くした人たちはみんなそうなんです。不思議でしょう。戦災孤児と大勢の中では言っていますけれども、戦災孤児という証明は何もないんです。ですから、国から何ひとつ支援してもらえませんでしたし、援助もありませんでした。ただ、ただ、生きるということだけに尽きました。

それから、大人になりまして、あんなに地獄のような苦しい思いをした広島、長崎、沖縄のことは大勢の人、世界中の人が知っています。

ですけれども、東京大空襲、焼夷弾といいますと皆さん簡単に考えていますけれども、焼夷弾は何種類もありまして、その種類によってはとても恐ろしいんです。粘着性の焼夷弾なんてといいますと、空爆ですから地上100メートルのところから落としますと、そこから300発に分散されて落ちます。それが下へいくとまた300発、だから600発ですよ。それがくっついちゃったら離れない。ここにくっついちゃったら離れない。

私のお友達でそれがついちゃって取れなくなっちゃって、お兄ちゃんが外套を脱いでかけてくれて、それで取って生き残った。だけど、お兄ちゃんは死んじゃった。そういう人もいます。それから、片腕がない人もいます。そんな人がたくさんいる。そういうことをもっともっと皆が知らなくちゃいけないと思うんです。ただ孤児の悲しいことだけじゃなくて、本来のその姿を後世に残してほしいと思います。

今、これから残してみんなに見なさいと言っても顔をそむけると思います。そんな惨禍、見たくないよ、こんなに平和なんだからとそむけます。それよりも、もっとおいしいものを食べて遊んでいたほうがいいよと、そういう気持ちになってしまいます。ですから、この3月10日に関してはもう少し悲しみ、苦しみだったんだということを知らせてほしいなと思います。

都庁の庭のところにあるのも（東京都民平和アピール）、5回目あたりでしょうか。東大の教授を含めまして、大岡昇平さんが元原稿を書き替えていただいて、それでそれを直し、直ししまして、それでつくり上げたものです。それは隅のほうにいつちやいましたけれども、そのころは本当に皆さん一生懸命でして、一時はバブルのころですよ。予算が取れたから、海老名さん、すごいものができるよと言ってくださいます、3カ所、4カ所、祈念館ができるということで本当に喜んで参加いたしました。広島にも勉強に行きました。

でも、とうとうできない。うやむやになってしまいました。これからどうなるのかなといううちに、私は毎年参加していましたが、心のない会だな、これではだめだ。それで、みんなここにくるとくたびれた、くたびれたと言う。海老名さん、くたびれたよ、腰が痛いよ、くたびれたよと言う。何のために3月10日のこれをやっているのかと思いました。

それで、私は自分で上野の山に母子像と、時忘れじの塔、慰霊碑を建立いたしまして、そこで孤児と認められなかった人たちだけでも集まってという気持ちだったんですけども、それでも公に知らせることはできませんでしたから家族だけでやりました。

そうしましたら、どんどん人が集まってきて、テントを張ったり、椅子を並べたりしました。個人でやっています。団体にも何にも所属していません。個人でやっています。

お金がかかります。内々のことを公で話しちゃっていますけれども、ですから働かなければいけない。でも、生きている限りは伝えていかなければいけない。私には、これが使命だと思っています。命ある限りあの悲しみを伝えていくこと、それから世界中の子に知ってほしいと思っています。

今、都内、各地方にもいらっしゃいますけれども、外国のお子さんたちも参加してくれて、日本でこんなことがあったんだ、みんな仲よくしようよと手をつないでくれるんです。最後は、この子たちが手をつないで、大人たちが御供養ができて良かったという気落ちで帰れるような会をつくったほうがいいと、私はそう思っております。

本当に申しわけないですけれども、小池さんになっては初めてですが、今までの都知事の方たち、石原さんもそうですけれども、本当に心が無い。ほかの方が話しているときは、足を広げてこうやって聞いていらっしゃる。私たちは、そんな気持ちじゃないんです。あの日、あんな時があったけれども、どこへ逃げて行ったんだろうか。弟は、どうやって死んだんだろうか。そういう思いでいます。それなのに、そういう話も出ません。

一時は、東京都内の学校全校に黙禱を捧げるというサイレンを鳴らして、黙禱を捧げるという提案があったんです。いいことだなと思いました。何回かあったと思うんです。4～5回あったんでしょうか。でも、それも立ち消えちゃいました。

いろいろ紆余曲折ありましたけれども、でもやらないよりはやったほうがいいです。なしにしちゃうよりは、何かの形で伝え残していったほうがいいと思います。私はもう年を取りましたから、本当にそう思うんです。ないよりは、あったほうがいい。私は、この会には命ある限り出てまいります。

上野の山にはどんどん集まりまして、外国からも見えるんですよ。ニュージーランドから来たり、バンクーバーから来たり、アメリカから来たり、みんな参加するんです。私、特別にお知らせしていないんです。新聞とか何かで取り上げていただいているだけなんです。なのに、参加してくださる。それが、去年は大体1,500人になりました。小さな心ばかりのお土産を持って行っていただいております。そんな支度もしています。

私と兄と2人で孤児になりまして歩いて来た道をたどりますと、本当に戦争ほど無残で悲しくて恐ろしいものはないと思います。これは、あつては絶対にいけない。そのためには大人が声を出して戦争がないように、それと世界中のみんなが手を結んでいかなければいけない。これを伝えていきたい。そんな思いで、老いてまだ参加しております。よろしく願いいたします。

○秋山座長 どうもありがとうございました。海老名委員の御体験に基づく大変貴重なお話でございました。

特に、個人での御努力につきまして本当に頭の下がる思いでございます。また、体験の伝承が一番だという貴重な御意見をいただきましたので、こういったことを念頭に置いて今後も企画、検討を進めていきたいと思っております。ありがとうございました。

それでは、本日欠席の委員からも御意見いただいておりますので、これは私のほうから御紹介をさせていただきます。では、資料がないようなので私のほうから読ませていただきます。

まず、山本亨委員でございます。

東京大空襲で甚大な被害を受けた墨田区にとっても、平和の尊さを後世まで語り継ぐこ

とは何にもまして大切なことであると考えています。東京都全体が一丸となって、これまで取り組んできた平和記念事業を継続実施してください。

また、本区横網2丁目の都立横網町公園内にある東京空襲犠牲者を追悼し平和を祈念する碑についても、さらに広く周知していただくよう希望します。以上です。

次に、石森孝志委員から御意見をいただいております。

戦争の中で起こった事実を伝えていくことは重要なことであり、引き続き実施していただきたい。実施内容（案）のとおり、空襲の資料展示を区部だけでなく、多摩地域においても継続して開催することは、空襲について広く知っていただくために必要なことと考える。以上です。

次に、坂本義次委員です。

戦争の経験を次の世代に伝えていくことは極めて重要なことであり、今後も積極的に継続していくべきことであると考えます。このことは東京都のみならず、どこの地域においても同様であり、資料展示など、さまざまな世代の人が理解しやすい手段の情報発信をしていくことが望ましいと考えます。以上でございます。

欠席3委員からのコメントを御紹介させていただきました。

それでは、一通り御意見を頂戴いたしました。今回は、企画内容に関すること、短期的な課題、中期的な課題などなど頂戴いたしましたので、これを企画内容にどう反映するか、今後どう反映していくかということにつきましては座長と事務局で検討させていただきまして、後ほどその結果については委員のほうにお伝えをしたいと思っておりますが、そのことを前提に、今回説明いたしました本年度記念行事案を、委員会として大筋で了承をしていただきたいと考えておりますが、いかがでございましょうか。よろしゅうございましょうか。

（「異議なし」と声あり）

○秋山座長 ありがとうございます。それでは、第28回東京都平和の日記念行事を、皆様からの御意見を踏まえた内容で準備を進めてもらうことといたします。

本日は、皆様から大変貴重な御意見を頂戴いたしました。御協力に感謝いたします。

事務局から、何かございますか。

○樋渡文化振興部長 お忙しい中、御参加いただきましてありがとうございます。

御熱心に御検討いただきまして、貴重な御提言をたくさんいただきましたので、今、座長からありましたけれども、中でいろいろ検討しながら対応したいと思います。来年3月10日の記念行事の実施に向けまして、これから準備を進めていこうと思っております。

それから、3月10日の式典の御案内ですけれども、追って通知をさせていただきたいと思っております。委員の皆様方にもぜひ御出席を賜りたく、よろしくお願ひしたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

○秋山座長 本日予定しておりました議事は、以上で全て終了いたしました。これをもちまして、平成29年度「東京都平和の日記念行事企画検討委員会」を閉会いたします。

委員の皆様、御協力ありがとうございました。御苦勞さまでした。

午後 2 時34分閉会